

石井直三郎 いしやう ちくさぶろ 歌人、美術評論家。明治二十二年七月十八日岡山縣生れ、昭和十一年四月二十二日歿（六十九歳）。筆名古月町人、小四郎、梅軒主人、猶異樓、石井生、石井直樹、青木小四郎、風狂生、A生等。大正二年東京帝國大學文科大學國文學科卒業。在學中白鳥歌之介、西條八十等と雜誌『聖盃』（のち『假面』と改題）を創刊。次いで尾上柴舟等の歌誌『車前草』に加はり、更に『水鏡』創刊に際し編輯責任者となる。五年朝報社入社、八年東京帝室博物館嘱託、初五年第八高等學校教授、十四年『青樹』創刊主宰。

譯著書、ブラウン著『西洋美術史』（譯、大正五年四月七日向陵社）『美術叢書』。再刊、十一年一月二十日金星堂、二刊、昭和九年四月十日創文社）、『南京畫』（青木小四郎名、大正五年五月二十日美術叢書刊行會『美術叢書』）、歌集『桂葉集』（合著、大正七年二月二十日水鏡發行所『水鏡叢書』）、『青樹』（昭和六年十月十七日愛知・水鏡社『水鏡叢書』）、山本憲浩讀詠集『白藤』（選、昭和九年八月二十日愛知・土屋宮二郎刊）、『作家入門』（合著・山本二年編、昭和十一年五月二十日改進社『短歌作法講座』）等。

